

じっと見る ブリヂストン美術館収蔵作品より

今回の展覧会では、画家や彫刻家の熱いまなざしに注目して、石橋コレクションから選ばれた総数約 130 点の作品を「人物」「自然」「馬」「静物」「都市」「見えないもの」の 6 つのグループに分けて紹介します。

ギリシア陶器から国内外の近現代美術まで、幅広い時代とジャンルにわたるブリヂストン美術館の収蔵作品から、作家たちの「じっと見た」軌跡をお楽しみください。

なお、会期中には関連イベントとして、ブリヂストン美術館の学芸員による美術講座やファミリープログラムも予定しています。

展覧会名	じっと見る ブリヂストン美術館収蔵作品より
会期	【前期】2017年7月29日(土)～9月24日(日) 【後期】9月28日(木)～11月5日(日)
作品数	約130点(会期中に一部展示替えがあります)
会場	久留米市美術館(本館2階)
主催	久留米市美術館、朝日新聞社、RKB毎日放送
特別助成	公益財団法人石橋財団
後援	久留米市教育委員会
入館料	一般1,000円(800円)、シニア700円(500円)、大学生500円(300円)、高校生以下無料 ※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上、前売りあり。 ※上記料金にて石橋正二郎記念館もご覧いただけます。 ※前売券は、チケットぴあ、ローソンチケット取り扱い店などにて600円で販売(Pコード768-204、Lコード86083)
開館時間	10:00-17:00(入館は16:30まで)
交通案内	JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分(在来線あり)福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関するお問い合わせ	久留米市美術館 展覧会担当：稲富景子 広報担当：森智志 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015(石橋文化センター内) TEL0942-39-1131/ FAX0942-39-3134

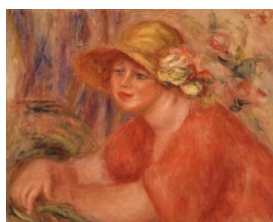
展覧会のみどころ

第1章 人物

鏡の中の自分としっかりと目を合わせた、レンブラントの自画像。肖像画では、お気に入りモデルをあたたかな色で包みこむように描いたルノワールや、格調高い女性像を描いた岡田三郎助、幼い弟の無心な表情を神秘的に表現した関根正二の作品などがあります。人物を前にした画家たちのまなざしには、モデルとの関係性や親密度がそのまま表れています。



レンブラント・ファン・レイン
《帽子と襟巻を着けた暗い顔のレンブラント》
1633年



ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《花のついた帽子の女》
1917年



岡田三郎助
《婦人像》
1907年



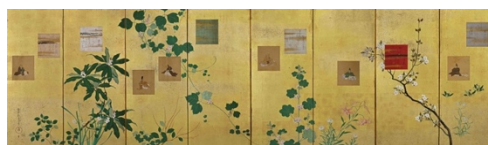
関根正二
《子供》
1919年

第2章 自然

19世紀の画家・コローが描いた森の風景には、都会人としてのノスタルジックなまなざしがあり、一方で同時代の酒井抱一は、四季の草花の特徴を丁寧に観察し、金屏風にリズムカルに配しています。こうした日本人の自然への繊細なまなざしから影響を受けたガレは、虫や草花のモチーフを大胆な図案としてとらえ、独自の装飾的なガラス工芸を生み出しました。



カミーユ・コロー
《ヴィル・ダヴレー》
1835-40年



酒井抱一
《新撰六歌仙四季草花図屏風》
江戸時代 19世紀前半
※前期のみ展示



エミール・ガレ
《蜻蛉草花文花瓶》
1880-1900年頃

第3章 馬

古くから人間の営みの近くにいた馬は、古今東西の作品に登場します。古代エトルリアの建築装飾に描かれた親子馬の表情には、作者の情愛のまなざしを感じられ、19世紀のロートレックは競走馬の空を駆けるような躍動感に注目しています。久留米出身の

PRESS RELEASE

2017.7.1

坂本繁二郎は馬の美しさにとりこになった画家でした。その馬への愛情は版画の柔らかな輪郭線になって表れています。



エトルリア《建築装飾フリーズ部分、
泉水に向う二頭の馬》
紀元前 550-540 年



アンリ・トゥールーズ=ロートレック
《騎手（I）》
1899 年 ※前期のみ展示



坂本繁二郎
《阿蘇五景 放牧》
1950 年

第4章 静物

坂本繁二郎が描く柿には、画家がその存在と一体となっているようなあたたかさが感じられる一方、セザンヌが対象を見る目は鋭く、実際に見える形態を、画家独自の目で歪ませています。安井曾太郎の視線はセザンヌに影響されつつも、どこかユニークです。果物や器などどこにでもある身近な題材が、作家のまなざしによって様々な表情を見せます。



坂本繁二郎《柿》1944 年



ポール・セザンヌ
《鉢と牛乳入れ》1873-77 年頃



安井曾太郎
《レモンとメロン》1955 年

第5章 都市

画家たちが目を向けた街の風景は、その時、画家自身が身を置いた場所であり、画面にはそこで過ごした時間も閉じ込められています。佐伯祐三が見たパリの街は、洗練された色彩の美しさの中に、どこか寂しげな空気が漂います。都市を描いた作品は、そこにいた画家たちの心象の記録とも言えるでしょう。



佐伯祐三
《ガラージュ》1927-28 年



佐伯祐三
《テラスの広告》1927 年

第6章 見えないもの

しなやかな体に凛とした雰囲気をもつ猫として女神を表した古代エジプト人の目、物語の世界を深い闇の中に神秘的に描いて見せたレンブラント、脳裏に浮遊するモチーフを取り出し独自の世界観を表現した古賀春江。強い想像力を得た画家たちの目は、現実世界を軽々と飛び越え、誰も見たことのないイメージ世界にたどり着き、魅力的な造形や色を獲得してきました。



エジプト
《聖猫》
紀元前 950-660 年



レンブラント・ファン・レイン
《聖書あるいは物語に取材した夜の情景》
1626-28 年



古賀春江
《漣しなき逃避》
1930 年

関連イベント

■ ギャラリートーク

毎週土曜日（9/23、9/30、10/7 をのぞく）、日曜日
時間：14：00～14：20 集合場所：本館 2 階エントランス

■ 美術講座

(1 回目)

- ・日 時：9 月 23 日（土）14：00（13：30 開場）～15：30
- ・講 師：平間理香（ブリヂストン美術館学芸員）
- ・内 容：「宗達派《保元平治物語絵扇面》について」

(2 回目)

- ・日 時：9 月 30 日（土）14：00（13：30 開場）～15：30
- ・講 師：新畑泰秀（ブリヂストン美術館学芸課長）
- ・内 容：「ゴッガン《馬の頭部のある静物》を中心に」

(3 回目)

- ・日 時：10 月 7 日（土）14：00（13：30 開場）～15：30
- ・講 師：貝塚健（ブリヂストン美術館学芸部長）
- ・内 容：「関根正二《子供》について」

いずれも、

- ・会 場：本館 1 階多目的ルーム
- ・定 員：各回先着 70 名（聴講無料、要展覧会チケット）

■ ファミリープログラム

クイズやゲームを通して家族で展覧会を楽しみ、プラ板で小さな美術館をつくります。

- ・ 日 時：10月14日（土）午前の部 10:00～12:00、午後の部 13:30～15:30
- ・ 対 象：小学生を含む家族
- ・ 定 員：各回5組
- ・ 参加費：無料（ただし大人は展覧会チケットが必要）
- ・ 申込方法：①～⑤をご記入の上、FAXまたはハガキでお申し込みください。
① 参加希望時間 ② 参加者全員の氏名（ふりがなも） ③ 参加者の年齢
④ 郵便番号・住所 ⑤ 電話番号
- ・ 申込先：久留米市美術館 ファミリープログラム係
〒839-0862 福岡県久留米市野中町 1015 FAX 0942-39-3134
- ・ 申込締切：9月25日（月）必着
*応募者多数の場合は抽選、結果はご応募いただいた方全員に9月30日（土）までにお知らせします。

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
6. 掲載見本を必ず1部お送りください。